

実践報告



玉川村立玉川第一小学校 平成29年 9月撮影

玉川第一小学校の緑のカーテンは、理科の学習を兼ねて4年生が栽培しました。校舎の南側に、へちまで緑のカーテンを作りました。毎朝登校すると、へちまのところへ足を運び、水やりをしたり、「へちまに栄養がいくように」と草むしりをしたり、子どもたちがとても意欲的に活動しました。夏休みに入るころから、花も咲き始めました。本年度は、校舎ベランダの手すりの工事があり、足場とネットが設置されていました。へちまは、3階建ての校舎の一番上までぐんぐん伸びていきました。植物の成長する力のすごさに驚かされました。そして、今は大きな実が実り、中には枯れて種が落ち始めた物もあり、来年へ向けた準備を始める植物の働きを子どもたちは発見して学習しました。

緑のカーテンを栽培したことをきっかけに、環境問題やエコな生活についても考える授業を行いました。今回、学習したことを今後の生活の中で生かし、福島県のよりよい環境を育む取り組みにつながっていくよう今後も励んでいきたいと思えます。